

令和四年度後期日程入学試験【小論文A】(人文社会科学部 人間文化学科)
模範解答例

問題一

問一 ㉖ 赴 ㉗ 信仰 ㉘ 塩漬 ㉙ 熟睡 ㉚ 多寡

問二 人間が便宜的に生み出した時間の概念に、生活や社会、経済のリズムを合わせ、自らの生存を時間によって規定しているということ。(六〇字)

問三 実際に見たり体験したりしたことのない過去や未来の事象、伝説・空想の世界には言及せず、関心を示さないピダハンの姿勢のこと。(六〇字)

問四 (二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。)

採点基準

一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。

一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。

一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。

一、文字表記が明瞭かつ正確であること。(誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。)

問題二

問一 ごっこ遊びが現実のあらゆる事象を模倣してきたことと同様に、玩具もまた現実を模倣することで進化してきたと考えること。(五七字)

問二 (二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。)

採点基準

一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。

一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。

一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。

一、文字表記が明瞭かつ正確であること。(誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。)